

Johnan Shinkin Bank DISCLOSURE

2023年版 ディスクロージャー誌



Cinnamoroll

©'23 SANRIO APPR. NO.L641054

城南信用金庫の経営内容について

Live together

地域と“共に”生きる 信用金庫。

私たち信用金庫は、
相互扶助の理念に基づいた、協同組織の金融機関です。
地域社会の発展・繁栄のためにつくられた
「公共的使命を持つ金融機関」として、
店頭では明るい笑顔でお客様をお迎えし、
外回りでは担当者がお客様のもとへ元気にお伺いする、
地域に密着し、信用・信頼を大切に活動を行っています。
これまでも、そしてこれからも、
お客様の最も身近なパートナーを目指して、
地域の皆様に寄り添い、「信頼の絆」をより強固に結びながら、
地域を明るく元気にする活動に、全力で取り組んでまいります。



城南信用金庫



城南信用金庫

Outline

当金庫の概要

- [設立] 1945年8月
- [会員] 263,094名
- [出資総額] 467億円
- [従業員] 2,036名
- [本店] 東京都品川区西五反田7-2-3
- [店舗] 86店 (うち有人出張所2・インターネット支店1)
- [営業地域] 東京都および神奈川・川崎・横浜・相模原・大和・厚木・海老名・座間・藤沢・伊勢原・綾瀬・平塚・秦野・茅ヶ崎・鎌倉・高座郡・愛甲郡



城南信用金庫のイメージキャラクター
「シナモロール」

Cinnamoroll

©'23 SANRIO APPR. NO.L641054



Contents 目次

ごあいさつ・経営理念(3つのビジョン)・経営方針	02	個人の皆様への夢のある商品・サービス	20
城南信用金庫のDNA	04	事業者の皆様への「本業支援」	22
沿革	06	TOPICS	25
2022年度の業績と経営内容	08	リスク管理態勢・コーポレートガバナンス態勢	26
SDGsへの取組み	14	やりがいを持ち、安心して働ける職場づくり	28
“よい仕事おこし”の取組み	18	店舗のご紹介	29

2022年度の実績は、当金庫のホームページから動画でご確認いただけます。
 こちらの二次元コードから「城南信用金庫お客様向け動画」へアクセスし、
 「2022年度の実績～逆境に立ち向かうお客様を全力で応援～」をご覧ください。
 ※URL: <https://www.jsbank.co.jp/movie/index.html>



地域のみなさまの 笑顔の実現に向けて

ごあいさつ

皆様には、平素より、城南信用金庫に対しまして、格別のご愛顧、お引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年度を顧みますと、新型コロナウイルス感染症の長期化で経済活動の回復が遅れる中、ロシアのウクライナ侵攻による資源価格・原材料価格の高騰に加え、日米金融政策の方向性の違いによる円安の加速等から物価高騰が急速に進み、中小企業の事業環境や国民生活に甚大な影響を及ぼしました。

こうした中、当金庫では、今まで以上に地域のお客様のお役に立ちたいという想いからお客様・街の声をまとめるアンケート調査を実施し、お客様の課題把握に努め、相談会・商談会・セミナーの開催等を通じて、お客様のお困りごとの解決を目指してまいりました。また、全国の信用金庫の連携によるビジネスマッチングイベント「“よい仕事おこし”フェア」を、事業者の売上増加をお手伝いする「本業支援」に特化した形で3年ぶりに通常開催するなど、お客様支援に全力で取り組み、こうした活動の結果、2022年度におきましても健全経営・堅実経営を維持することができました。これもひとえに地域の皆様のご支援・ご協力の賜物と心より深く感謝申し上げます。

迎えた2023年度においても、不安定な世界情勢や欧米に端を発する金融不安等、日本経済に与える影響が懸念されておりますが、こうした先行き不透明な状況だからこそ、お客様一人ひとりのニーズにお応えし、地域の皆様のお悩みごとを解決していく取組みが重要であると考えております。

当金庫は、「困っている人を助けることが信用金庫の使命」という想いを胸に、「中小企業の健全な育成発展」「豊かな国民生活の実現」「地域社会繁栄への奉仕」という「3つのビジョン」の実現を通して、「信用金庫が地域経済を支え、日本を明るく元気にする」という覚悟を持って、全役職員が一丸となり、地域の皆様の笑顔の実現に向けて、時代の変化を恐れることなく全力投球してまいりますので、今後とも何卒一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 川本 恭治

経営理念

3つのビジョン



「健全経営」「堅実経営」の徹底 －「間接金融専門金融機関」を貫く－



城南信用金庫では、お客様に損失を与える可能性のある商品は取扱っており、安全確実な預金商品の提供に努めるとともに、お客様のお役に立つ健全な融資の取扱いを通じて地域のお客様を全力で支援するなど、金融機関の原点である「間接金融専門金融機関」を貫いています。

また、創立以来「貸すも親切、貸さぬも親切」という融資の基本原則を貫いており、投機を目的とした融資は一切行っておりません。

余裕資金の運用についても、証券化商品への投資は一切行っており、国債や預け金等の安全確実な運用に努めています。

今後についても、金融機関としての本業に徹するとともに、「健全経営」「堅実経営」を徹底してまいります。



Managerial Policy 経営方針



「人を大切にする経営」 「思いやりを大切にする経営」の徹底

信用金庫は、助け合いや思いやりを大切にして、誰もが幸せに暮らせる社会を実現するために生まれた協同組織の金融機関です。城南信用金庫は、「人を大切にする」「思いやりを大切にする」という協同組織の精神による金融業務に力を注ぎ、地域のお客様のお役に立ち、日本を明るく元気にするために全力で取り組んでまいります。

「お客様本位」に基づいた 取組みの徹底

信用金庫は、地域の皆様が会員（出資者）であると同時に取引先であるため、本当の意味での「お客様本位」に徹した経営が可能です。このため城南信用金庫では、お客様に目を向けた独自の商品・サービスのご提供に努めるとともに、お客様のお困りごとを解決するために全力を注ぐなど、誠実で真心を込めた取組みに徹し、地域のお客様との「信頼の絆」をより強固なものとしてまいります。

ビジョン 01

中小企業の健全な育成発展

お客様のお役に立つべく、「貸すも親切」「貸さぬも親切」の精神をもって地域の中小企業の育成発展に貢献します。

ビジョン 02

豊かな国民生活の実現

信用金庫は、地域を守り、地域の方々の幸せのためにつくられた公共的使命を持つ金融機関です。自らの利益のために活動するのではなく、豊かな国民生活の実現のため努力を惜みず取組みます。

ビジョン 03

地域社会繁栄への奉仕

地域に根ざした金融機関として、お客様のお役に立つ商品、サービスの提供、相談業務の充実を図ることにより、地域の皆様の事業の発展や豊かで潤いある暮らしづくり、さらには活気に溢れた明るい街づくりを目指し、全力を尽くします。

城南信用金庫のDNA



ルーツは世界最初の協同組合

ロッヂデール公正先駆者組合

我が国では、ドイツの商工業者の信用組合をお手本にして、1900年(明治33年)9月に産業組合法が制定されましたが、この時に誕生した産業組合が現在の農協や生協、信用金庫のルーツと言えます。

このドイツの信用組合は、1844年にイギリス・マンチェスター郊外のロッヂデールに創立された、世界最初の協同組合「公正先駆者組合」がモデルであり、当時イギリスでは、産業革命が急速に進展した結果、貧富の差が拡大するばかりで、社会の混乱を招いていました。そこで勤労者や庶民がお互いに助け合って、皆が豊かで安定した生活を営める理想社会をつくらうという社会運動が起こり、これが協同組合運動となりました。



ロッヂデール組合の建物

都内最古の「入新井信用組合」

加納久宜子爵

その後、我が国では、産業組合法に基づき、1902年(明治35年)7月に、上総一宮藩最後の藩主であった加納久宜子爵が、大田区山王の自宅で都内最古の信用組合である入新井信用組合を設立しました。1905年(明治38年)には、会頭を平田東助、副会頭を加納子爵とする大日本産業組合中央会が創設され、加納子爵は全国農事会と入新井信用組合の連名で、全国の産業組合に呼びかけ、自らが議長となって第一回全国産業組合大会を開催しました。その他にも、鹿児島県知事や千葉県の一宮町長を務められたほか、農事会幹事長、帝国農会の初代会長、日本体育会会長として金融、農業、教育、地方自治の分野において、近代日本の発展に大きな貢献をされました。

実はこの加納家は、江戸時代、徳川家に側近として仕え、将軍家と縁戚関係にある名家でした。特に江戸時代中期、徳川8代将軍徳川吉宗に御用取次役として仕えた加納久通は、目安箱の設置や無料の医療施設であった小石川養生所の設置など、民衆のための政策であった享保の改革を補佐しました。

加納家の志を受け継いだ加納子爵が信用組合の普及や啓蒙に尽力された結果、近隣の有力者たちは、入新井信用組合に学び、城南の前身となる信用組合を相次いで設立しました。国のため、地域のため、民衆のために一生を尽くした加納子爵は、「一にも公益事業、二にも公益事業、ただ公益事業に尽くせ」という信用金庫の持つ公共的な使命を示す言葉を遺しました。「困った人々を助ける」という想いは現代まで脈々と受け継がれています。



加納久宜子爵
(鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵)

城南信用金庫の誕生

城南信用組合の発足

終戦直前の1945年(昭和20年)8月10日、空襲により焦土と化した城南地区の一角において、入新井信用組合をはじめとした15の信用組合が合併し、城南信用組合が発足しました。

初代組合長は、当時、六郷信用組合の組合長を務めた代田朝義。1894年(明治27年)12月に山梨県北巨摩郡菅原村で生まれ、六郷町長、東京都議会議員などを経て大田区長を10年間務めた人物です。1945年(昭和20年)10月には、民間から初めて東京都市街地信用組合協会(現在の東京都信用金庫協会)の会長に選出され、同年12月には全国信用組合協会(現在の全国信用金庫協会)の会長に就任するなど、地元の名士として政界で活躍する一方で、信用金庫業界の指導者としても活躍し、地域社会の発展と我が国経済の発展、繁栄に貢献しました。

第2代組合長は入新井信用組合の組合長を務めた酒井熊次郎。1889年(明治22年)12月に荏原郡入新井町で生まれ、東京都議会議員、入新井町長を歴任しました。1950年(昭和25年)には、全国信用協同組合連合会(後の全国信用金庫連合会、現在の信金中央金庫)の設立発起人として大蔵省との交渉にあたり、全国的信用組合に協力を呼びかけるなど、同連合会の設立に尽力しました。同連合会は当時の城南信用組合本店の会議室を借りて発足しました。酒井は初代会長に就任し、1956年(昭和31年)まで6年間にわたり信用金庫業界のリーダーを務めました。

その後、城南信用組合は、1951年(昭和26年)6月の信用金庫法の施行に伴い、同年10月に全国のトップを切って信用金庫に改組し、名称を城南信用金庫と改めました。



旧本店

信用金庫業界の発展に貢献

第3代理事長 小原鐵五郎

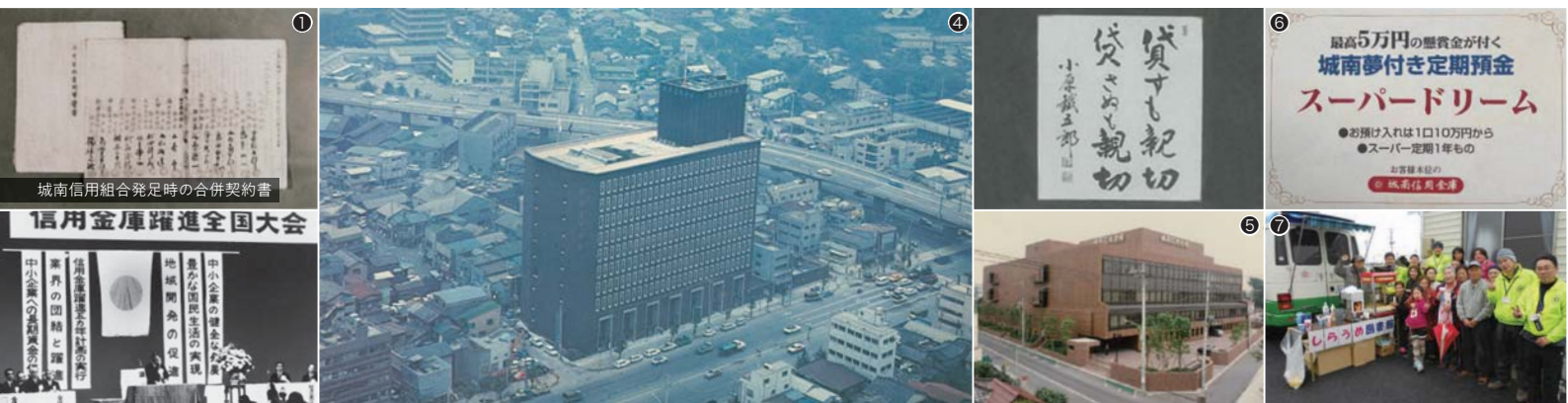
小原鐵五郎は、1899年(明治32年)10月に荏原郡大崎村の農家の四男として生まれました。1919年(大正8年)に大崎信用組合の設立に参加し、1930年(昭和5年)には産業組合中央会主催の弁論大会で「信用組合の貸出金について」というテーマで1等賞を受賞しました。1945年(昭和20年)4月に大崎信用組合の専務理事に選任され、また同年8月には城南信用組合発足と同時に専務理事に就任しました。

小原は、1956年(昭和31年)に第3代理事長に就任し、さらには1963年(昭和38年)に全国信用金庫連合会の会長に、1966年(昭和41年)には全国信用金庫協会の会長に就任するなど、名実ともに業界を指導するリーダーとなりました。当時、大蔵省は信用金庫を株式会社化して、銀行が信用金庫を吸収合併できる法案の成立を考えていましたが、小原は「信用金庫は日本経済を支える中小企業のための金融機関である」という「裾野金融論」を主張して、信用金庫業界の危機を救いました。そして1968年(昭和43年)の「信用金庫躍進全国大会」において、信用金庫の経営理念となる3つのビジョンを初めて打ち出しました。

1975年(昭和50年)に理事長を退任して会長に就任した後も、1989年(平成元年)1月27日に89歳で亡くなるまで、城南信用金庫のみならず信用金庫業界全体の発展のために精力的に活動しました。こうした長年の功績が認められて、1977年(昭和52年)には勲二等瑞宝章を、1987年(昭和62年)には勲一等瑞宝章を受章しました。小原が遺した「裾野金融」「貸すも親切、貸さぬも親切」「カードは麻薬」「国民経済」「産業金融」「銀行に成り下がるな」等の言葉は、「小原鐵学」と呼ばれ、現在も信用金庫の理念を示す言葉として大切に受け継がれています。



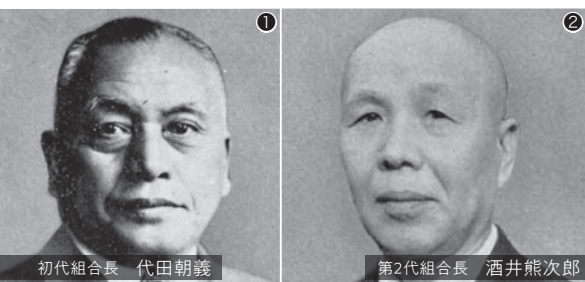
小原鐵五郎



1945 1950 1960 1970 1980 1990 2010

1945	1948	1951	1956	1959	1961	1970	1977	1986	1991	1992	1994	2011	2012	2014	2015
8月	10月	10月	5月	2月	10月	7月	10月	2月	4月	4月	11月	3・4月	4月	7月	6月
初代組合長に代田朝義が就任※ ^① 東京都城南地区の15の信用組合が合併、城南信用組合として発足	第2代組合長に酒井熊次郎が就任※ ^②	信用金庫法施行に伴い信用金庫に改組	第3代理事長に小原鐵五郎が就任	東都信用金庫の事業全部譲受	金庫歌「城南信用金庫の歌」制定※ ^③	芝商工信用金庫の事業全部譲受	新本店新築落成※ ^④	新事務センター完成※ ^⑤	公益財団法人小原白梅育英基金設立	金融界で初めて、「不良債権」の残高を開示	金融界で初めて、「独自」の短期・長期プライムレートを導入	「東日本大震災」への義援金として3月に1億円、4月に2億円、合計3億円を寄付	被災地支援のボランティア活動を開始※ ^⑦	小泉純一郎首相が城南総合研究所の名譽所長に就任※ ^⑨	「日本を明るく元気にする」よい仕事おこし「フェア」を開催※ ^⑧

沿革



初代組合長 代田朝義

第2代組合長 酒井熊次郎



通常総代会風景

西條八十作詩
古関裕而作曲

城南信用金庫の歌

一、雨風増えて たくましく
伸びゆく国の 幹を根を
あふれ湧く 至誠もて
つよく 正しく 守る者
あゝ我等あり 城南の
白梅かおる 信用金庫

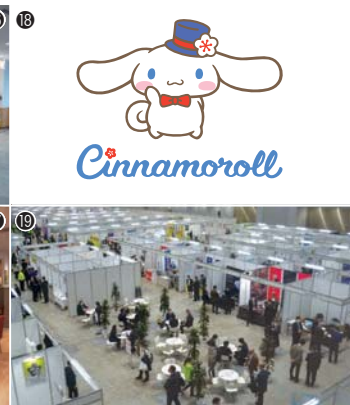
二、迎える笑顔 来る笑顔
明るき窓の 協力を
築きつむ 国の富
花と咲かす 幸福よ
あゝ我等あり 城南の
白梅かおる 信用金庫

三、世界を照らす 国力も
小さな町の 榮より
輝やける 理想もて
高き使命に 進む者
あゝ我等あり 城南の
白梅かおる 信用金庫

ご視聴は
こちら

QRコード

コロムビア 45 rpm レコード



2020

2021

2022

2023

2018年

4月

創業支援施設「J-Create」を開設※11

10月

「しらうめ」ネット支店を開設

12月

「よい仕事おこしネットワーク」を立ち上げ※12

2019年

7月

「RE100」の目標を達成

2020年

7月

「よい仕事おこしプラザ」を開設※13

9月

高円寺支店を新築建替し、1階に認可保育園を併設※14

12月

各営業店で開催※15
地域の飲食店による食品販売イベント「信金じもと飯」を

2021年

10月

「ドールコーヒーショップ城南信用金庫瀬谷店」を併設※16
瀬谷支店を移転し、

2022年

3月

「ドールコーヒーショップ城南信用金庫元住吉店」を併設※17
元住吉支店をリノベーションし、

3月

コワーキングスペースを併設した賃貸住宅としての運用を開始
宮前平寮をリノベーションし、

4月

当金庫のイメージキャラクターに就任※18
株式会社サンリオの「シナモロール」が

12月

「2022」よい仕事おこし「フェア」を開催※19
東京ビッグサイトにて

2023年

1月

個人向け「城南バンキングアプリ」の取扱いを開始

2月

「ドールコーヒーショップ城南信用金庫相武台店」を併設※20
相武台支店をリノベーションし、

2月

事業者向け「城南バンキングアプリBiz」の取扱いを開始

3月

シェアオフィスを併設した賃貸住宅としての運用を開始※21
碑文谷寮をリノベーションし、



2022年度の 業績と経営内容

2022年度の城南信用金庫の業績と経営内容についてご報告します。

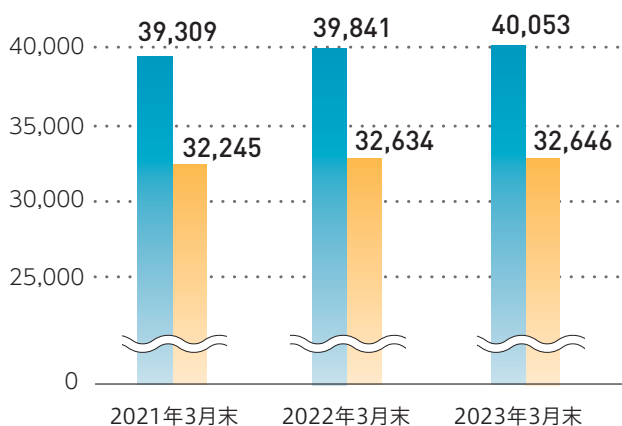
預金と貸出金について

預金

預金の推移

■ 預金 ■ 個人預金

(金額単位:億円)



預金については、年間で211億円増加し、残高は4兆53億円となりました。

また、地域のお客様からの信頼のバロメーターともいえる個人預金の残高については、3兆2,646億円となりました。

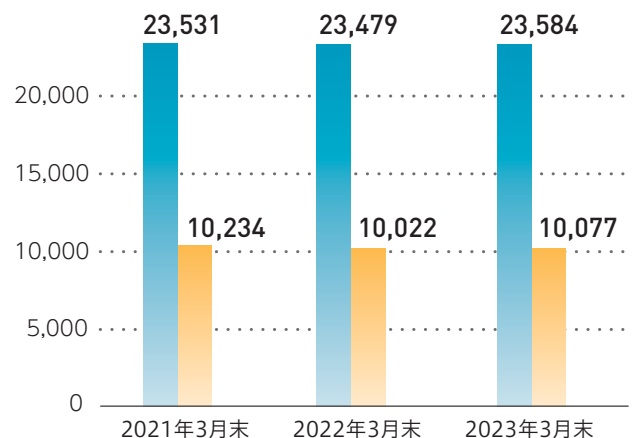
多くの金融機関では、投資信託や変額年金保険等を販売していますが、これらの商品には、運用対象となっている株式や債券等の価格が下落したり、為替相場が変動すると元本割れするなどのリスクがあり、当金庫では、こうしたお客様に損をさせる可能性のある商品は取扱っておりません。

貸出金

貸出金の推移

■ 貸出金 ■ 地域再開発ローン

(金額単位:億円)



貸出金については、お客様のお役に立つ融資の推進に取り組んだ結果、年間で104億円増加し、残高は2兆3,584億円となりました。

また、お客様の不動産を有効活用するためのマンション、アパート等の建築資金をご融資する地域再開発ローンについては、年間864億円の貸出を行い、残高は1兆77億円となりました。また、住宅ローンの残高についても、年間324億円の貸出を行い、残高は3,706億円となりました。

当金庫では、今後も、地域の中小企業や個人のお客様のお役に立つ健全な融資の推進に取り組んでまいります。

収益について

業務純益、経常利益、当期純利益

収益については、健全な融資の推進に努める一方で、余裕資金の運用においても、リスクの少ない、安全確実な運用に努めた結果、本業からの利益である業務純益は70億円、経常利益は59億円、税引後の当期純利益は40億円となりました。

- ・詳細な計数資料については、「計数資料編」に掲載します。
- ・本誌に掲載した各計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。
- ・本誌に表示している表、グラフ等で、年月の記載のないものは、2023年3月31日現在のものです。



(金額単位:百万円)

業務収益	41,792
貸出金の受入利息	30,313
預け金等の受入利息	8,035
受入手数料等	3,032
その他	410
業務費用	34,727
預金・積金の支払利息等	685
支払手数料等	1,836
人件費	18,746
物件費	10,590
その他	2,868
業務純益	7,064
臨時収益	436
臨時費用	1,549
貸出金償却・引当	556
その他	993
経常利益	5,951
当期純利益(税引後)	4,081

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

自己資本比率について

自己資本比率

2023年3月期の自己資本比率は、表①のように、10.55%となり、国内基準である4%の2倍以上であり、当金庫の経営の健全性が

おわかりいただけると思います。

表①. 自己資本比率

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額 (コア資本に係る基礎項目の額 - コア資本に係る調整項目の額)}}{\text{信用リスク・アセット + オペレーショナルリスク}} \times 100 = 10.55\%$$

1,823億円
1兆7,273億円

※オペレーショナルリスクの計算に当たっては、基礎的手法を採用しており、1年間の業務粗利益に15%を乗じた額の直近3年間の平均値を、金融庁が定める8%で割って算出しています。

不良債権と償却・引当額について

信用金庫の不良債権には、「信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分」と「自己査定に基づく分類貸出金」の2つの基準があります。

このうち、「信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分」

は、法律で開示が義務づけられていますが、当金庫では、これに加えて、不良債権の実態を正確に示した「自己査定に基づく分類貸出金」を自主的に開示しています。

自己査定結果

自己査定にあたっては、まず、全貸出先について、債務者の財務や経営実態に応じて、正常先から破綻先までの5段階に区分を行います。これを「債務者区分」と言いますが、2023年3月期における債務者区分別の貸出先数・貸出金残高等の状況をまとめたものが表②です。

このうち、要注意先に対する貸出金については、貸出条件緩和債権（債務者の収支状況等の悪化により貸出条件の改定等を行った債権）の有無や、返済履行の遅延状況、貸倒れの発生する可能性等に基づいて、A、B、Cの3つのランクに細分化して開示しています。

表②. 債務者区分別貸出先数・貸出金残高等

(金額単位:億円)

		先 数	金 額	(構成比)
正 常 先	業況が良好で、財務内容にも問題のない先	44,830	15,973	(67.7%)
要 注 意 先	今後の管理に注意を要する先	7,643	6,804	(28.8%)
内訳A	貸出条件緩和債権がなく、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	7,607	6,684	(28.3%)
B	貸出条件緩和債権があり、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	28	79	(0.3%)
C	期限経過・延滞が1ヵ月以上3ヵ月未満の先、ならびに要管理先のうち、無保全額が多額で、将来においてリスクの発生する可能性が高く、個別に引当を行うことが望ましい先	8	40	(0.2%)
破綻懸念先	事業は継続しているものの、今後、経営破綻に陥る可能性がある先	1,488	673	(2.9%)
実質破綻先	実質的に経営破綻の状況に陥っている先	208	48	(0.2%)
破 綻 先	法的・形式的に経営破綻の事実が発生している先	67	13	(0.1%)
国・地方公共団体	(回収について危険性がなく、債務者区分を行っていません)	2	77	(0.3%)
合 計		54,238	23,589	(100.0%)

次に、債務者区分毎に担保・保証等による債権回収の可能性を精査して、貸出金を「Ⅰ(非)分類」から「Ⅳ分類」の4つのランクに分

類しますが、その結果が表③です。

表③. 分類貸出金

(金額単位:億円)

		金 額	(構成比)
Ⅰ(非)分類	回収について問題のない貸出金	18,800	(79.7%)
Ⅱ分類	回収について注意を要する貸出金	4,780	(20.3%)
Ⅲ分類	回収について重大な懸念がある貸出金	7	(0.0%)
Ⅳ分類	回収不能と判定される貸出金	1	(0.0%)
合 計		23,589	(100.0%)

※2021年度以前に引当てした貸出金はⅠ(非)分類となっています。

※Ⅲ分類、Ⅳ分類の貸出金は2022年度に発生したものを計上しています。

貸出金の償却・引当

貸出金に対する償却・引当については、表④に示したような内訳になりますが、破綻先、実質破綻先に対する貸出金のうち、「Ⅲ分類」「Ⅳ分類」の貸出金については、担保でカバーされていない無保全部分であり、実際には、回収は難しいため、全額を償却・引当処理しました。

また、破綻懸念先に対する貸出金のうち、「Ⅲ分類」の貸出金に

ついては、まだ事業を継続している先等に対する貸出金であり、実際には、今後回収可能なものも含まれていますが、当金庫では、その先についても、債務者の支払能力を総合的に判断し、必要と認める額を計上しています。その結果、2022年度は100%の引当処理を実施しました。

表④. 破綻先、実質破綻先、破綻懸念先に対する貸出金の償却・引当額

破 綻 先	(うちⅣ分類) (うちⅢ分類)	0.1億円 — 億円	□	...	0.1億円の全額	0.1億円
実質破綻先	(うちⅣ分類) (うちⅢ分類)	0.8億円 — 億円	□	...	0.8億円の全額	0.8億円
破綻懸念先	(うちⅢ分類)	7億円		...	7億円の100%	7億円
合 計						8億円

※単位未満のみ小数第1位まで表示しています。

信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分

2022年3月31日より改正信用金庫法が施行され、「信用金庫法に基づく開示債権区分」を「金融再生法に基づく開示債権区分」に合わせることで、不良債権の実質的な開示の一本化が図られることとなりました。

「信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分」の2023年3月期の内容は表⑤の通りです。

このうち「要管理債権」とは、債務者区分が要注意先に対する債権のうち、「3ヵ月以上延滞債権(元金又は利息の支払いが、約定支払日の翌日を起算日として3ヵ月以上延滞している貸出債権)」と「貸出条件緩和債権(経済的困難に陥った債務者の再建又は支援を図ることを目的とし、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権)」のことで、

また、「危険債権」とは、債務者区分が破綻懸念先に対する債権、そして「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、債務者区分

が実質破綻先と破綻先に対する債権のことで、

3ヵ月以上返済が遅れている先に対する貸出債権については、多くの金融機関が債務者区分に際して、その一部を要注意先に区分しているのに対し、当金庫ではワンランク厳しい破綻懸念先に区分しているため、全て「危険債権」に含まれています。

当金庫では、「貸出金の償却・引当」で示しました通り、破綻先、実質破綻先、破綻懸念先に対する貸出金については、無保全額の100%を償却・引当処理していますので、当金庫の貸出債権は高い健全性を示していると言えます。

なお、新聞等で一般に不良債権比率と呼ばれているものは、この「信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分」のうち、「正常債権」を除く、「要管理債権」「危険債権」「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の割合のことで、2023年3月末の不良債権比率は3.49%となっています。

表⑤. 信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分

(金額単位: 億円)

	金 額	(構成比)	償却・引当後の無保全額
正常債権	22,773	(96.5%)	
要管理債権	92	(0.4%)	
3ヵ月以上延滞債権	—	(—)	
貸出条件緩和債権	92	(0.4%)	
危険債権	673	(2.9%)	—
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	58	(0.2%)	—
合 計	23,597	(100.0%)	—

※「金額(構成比)」は、単位未満を四捨五入しています。

※預金担保貸出金は、要管理債権には該当しないため、要管理債権から除外しています。

※単位未満のみ小数第1位まで表示しています。

融資業務に対する基本姿勢について

当金庫では、創立以来、「貸すも親切、貸さぬも親切」という融資の基本原則を貫き、真にお客様の発展、繁栄のお役に立つ健全な融資を取扱っています。

融資は、ご用立てしたお金がお客様の健全な発展、繁栄につながり、感謝されて、利息とともに返済されることが基本であり、返済能力、返済計画に無理のある融資や、資金使途に問題のある融資、お客様のためにならない融資申込については、いくら担保や保証があっても、お断りしたり、計画の見直しをお勧めすることが「本当の親切」だと考えています。

こうした融資に対する基本姿勢は一貫しており、株や土地等への投機を目的とした融資は行ってこなかったため、不良債権も少なく、健全な経営内容を堅持しています。

また、当金庫では、単に融資をセールスするのではなく、事業先

等のお客様の悩みをお聞きして、ともに解決していくため、「商談会」「各種セミナー」「海外事業展開支援」「事業承継・M&A」「産学連携」「相続、税務相談等に関する専門家派遣サービス」等、地域の企業や事業先を応援するサービスを幅広く提供することで、地域の事業先の発展、繁栄に貢献することを大前提としています。

さらに、資金繰りの面でも、預貸率が58.88%と、潤沢な資金を有しているため、貸し渋りや、金融機関にとって都合の良い時だけ融資するといった「晴れの日に傘を貸す」というやり方ではなく、「雨の日にこそ傘を差し出す」という姿勢のもとに、地域の健全な中小企業や堅実な個人のお客様に対する、低利で良質な資金の安定的な供給に取組んできた結果、地域への資金供給の状況は、表⑥のようになりました。

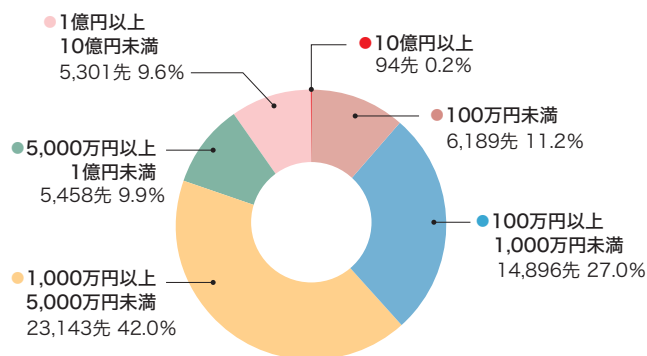
表⑥. 地域への資金供給の状況

事業者向け	1兆9,324億円	設備資金	1兆5,662億円
個人向け	4,182億円	運転資金	7,921億円
地方公共団体向け	77億円	住宅ローン	3,706億円
預貸率	58.88%	消費者ローン※	54億円

※リフォーム、教育、マイカー購入等を目的とした個人向けの貸出です。

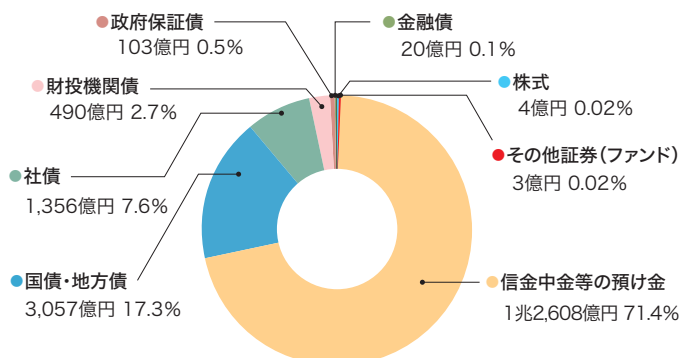
貸出金額階層別貸出先数について

当金庫では、1先あたりの貸出金額が1億円未満の先が90.2%を占めており、貸出が一部の大口先に偏ることなく、小口多数の貸出により構成されています。



余裕資金の運用について

貸出金以外の運用については、信金中央金庫の定期預金等の預け金が全体の71.4%を占め、その他は、国債・地方債が17.3%、国内優良企業の社債が7.6%等、安全性と流動性の高い債券がほとんどであり、株式はわずか0.02%しかなく、リスクの少ない、安全な運用に徹しています。



当金庫は、社会的課題や環境問題の解決に繋がる事業、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、公共的使命を持った社会貢献企業の役割を果たすべく、以下の債券に投資しています。

・グリーンボンド（発行：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構）

・CBIプログラム認証付きサステナビリティボンド（発行：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構）

・ソーシャルボンド（発行：独立行政法人国際協力機構）

※これらの債券は財投機関債に含まれています。

貸借対照表 (2023年3月31日現在)

(金額単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現 金	17,964	預金積金	4,005,302
預け金	1,260,876	コールマネー	29
有価証券	503,720	引当金	12,671
貸出金	2,358,443	再評価に係る繰延税金負債	8,001
外国為替	162	その他	8,357
有形固定資産	56,761	負債の部合計	4,034,361
無形固定資産	4,845	(純資産の部)	
繰延税金資産	10,141	出資金	46,773
その他	14,809	利益剰余金	134,789
貸倒引当金	△ 7,510	利益準備金	28,600
		その他利益剰余金	106,189
		特別積立金	98,650
		(社会福祉事業積立金)	1,450
		(配当準備金)	5,200
		当期末処分剰余金	7,539
		会員勘定合計	181,562
		その他有価証券評価差額金	△ 11,690
		繰延ヘッジ損益	△ 37
		土地再評価差額金	16,018
		評価・換算差額等合計	4,290
		純資産の部合計	185,853
資産の部合計	4,220,215	負債及び純資産の部合計	4,220,215

損益計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(金額単位:千円)

科 目	金 額
経常収益	42,228,360
資金運用収益	38,349,254
役務取引等収益	3,032,141
その他業務収益	410,960
その他経常収益	436,003
経常費用	36,276,875
資金調達費用	685,799
役務取引等費用	1,836,398
その他業務費用	45,466
経 費	31,032,205
その他経常費用	2,677,005
経常利益	5,951,484
特別利益	1,036,000
特別損失	1,413,910
税引前当期純利益	5,573,574
法人税等合計	1,491,609
法人税、住民税及び事業税	1,731,173
法人税等調整額	△ 239,563
当期純利益	4,081,964
繰越金(当期首残高)	3,503,557
土地再評価差額金取崩額	△ 46,473
当期末処分剰余金	7,539,048

SDGsへの取組み

環境・社会・経済

調和の取れた未来に向けて

SDGsへの取組みを推進

当金庫は、SDGsを経営の重要課題と位置づけ、金融業務のみならず、さまざまなサービスや社会貢献活動を積極的に展開することで、山積する社会的課題の解決と持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進してまいります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

■「SDGs」とは…

2015年9月に開催された国連サミットにおいて、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットを定めた「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」が採択されました。このユニバーサルな国際目標に対し、国や企業のみでなく、すべての人々に対して積極的な取組みが期待されています。



地域のニーズに応じた店舗資産の活用

老朽化した店舗の建替えや、店舗空きスペースの有効活用を、「環境・社会・経済」をより良くする」という観点から進めています。環境面では、新築する店舗への太陽光パネルの設置を進めており、購入する電力は再生可能エネルギーから調達しています。社会・経済面では、住宅街であれば認可保育園や地域の憩いの場となるカフェの併設、オフィス街であればシェアオフィスやインキュベーション施設を併設するなど、各店舗が立地する地域の抱える課題に合わせた機能を持たせ、地域のサステナビリティに貢献しています。

2022年度は、2023年2月20日に「ドトールコーヒーショップ城南信用金庫相武台店」を併設した相武台支店をリニューアル



「ドトールコーヒーショップ城南信用金庫相武台店」を併設した相武台支店



「ウッドシティTOKYOモデル建築賞」奨励賞を受賞した高円寺支店



オープン、3月24日には施設の老朽化と利用ニーズの低下により閉鎖していた碑文谷寮をリノベーションし、シェアオフィスを併設した賃貸住宅としての運用を開始しました。

また、1月31日には、福島県の産業支援の一環として、南会津産のカラマツを使用し、先進的な木質ハイブリッド工法で建築した高円寺支店が、東京都の「ウッドシティTOKYOモデル建築賞」において、奨励賞を受賞しました。

※「ウッドシティTOKYOモデル建築賞」は、木材利用の新たな可能性を開拓する革新的・モデル的な建築物や木質空間を表彰する東京都の事業です。

警察署と連携した取組み

各営業店が地域の警察署と連携し、こども110番や交通安全運動への参加、特殊詐欺被害防止等の取組みを行っています。

2022年7月15日には、当金庫本店を管轄する大崎警察署とともに、スバリゾートハワイアンズのダンシングチーム「フラガール」にご協力いただき、防犯と交通安全を呼びかける合同キャンペーンを実施しました。特殊詐欺をはじめとする犯罪や交通事故を未然に防止するため、本店前の街頭にて近隣の皆様に広く注意を呼び掛けました。



東日本大震災12年パネル展「ともに笑顔に～新たな未来へ～」を開催

東日本大震災の発生から12年が経過しました。当金庫では、震災発生以降、現地でのボランティア活動や「よい仕事おこしフェア」の開催等、継続した被災地支援に取り組んでいます。

震災の記憶を風化させず、未来へつなげていくため、2023年3月1日から4月3日にかけて、福島民報社、岩手日報社、東京新聞にこれまでの報道写真等をご提供いただき、当金庫本店において、東日本大震災12年パネル展「ともに笑顔に～新たな未来へ～」を開催しました。期間中には、渡辺復興大臣、内堀福島県知事をはじめ、多くの方にお越しくださいました。



「城南CUP」「城南 ガールズCUP」を開催



地域のスポーツ振興・青少年の健全な育成に資することを目的として、目黒区、品川区、大田区、世田谷区から選抜された少年野球チームがナンバーワンを競う大会「城南CUP」(主催・主管:城南信用金庫、目黒区軟式野球連盟、品川区軟式野球連盟、大田区軟式野球連盟、世田谷区軟式野球連盟 後援:東京都、目黒区、品川区、大田区、世田谷区、東京新聞・東京中日スポーツ、一般社団法人日本プロ野球選手会)を開催しています。

2022年10月より開催された「第11回城南CUP」には、18チームが参加し、子どもたちが白熱した試合を繰り広げました。また、女子選手のみを対象とした「第8回城南ガールズCUP」も併せて開催しました。



城南CUP



城南ガールズCUP

公益財団法人 小原白梅育英基金を通じて 有為な人材を育成



向学心に燃える学生に奨学金を援助し、「世の為、人の為」に役立つという高い志と使命感に溢れる有為な人材を育成するため、1986年2月に公益財団法人小原白梅育英基金を設立し、その活動を全面的にバックアップしています。

「奨学金給付事業」と「奨学生指導事業」を両輪としており、奨学生に対する奨学金の給付に加えて、「奨学生の集い」や「卒業奨学生送別の集い」の開催、機関誌「白梅」の発刊等を通じて、奨学生の指導や人間形成にも力を注いでいます。



「しんきんCUP世田谷区 小学生将棋大会」を開催



世田谷区制90周年を記念して、世田谷区に在住または在学の小学生が参加する「しんきんCUP世田谷区小学生将棋大会」(共催:世田谷区 協賛:昭和信用金庫、世田谷信用金庫)を開催しました。予選は2022年8月24日に当金庫三宿支店にて、決勝戦は9月4日に世田谷区役所三軒茶屋分庁舎にて行われ、29名の小学生が白熱した対局を繰り広げました。

対局後には、プロ棋士である森下卓九段によるワンポイントレッスンや、金庫職員による金融教室などを開催しました。



城南信用金庫 社会貢献賞を贈呈



社会貢献活動に積極的に取り組まれている地域の皆様を表彰し、広くご紹介させていただくことで、「共感」と「感動」の輪を広げ、健全なコミュニティの構築を実現することを目的として、「城南社会貢献賞」を創設しています。これまでに19先の企業・団体等を表彰させていただきました。



お取引先紹介誌 「うめナビ」等を発刊



新たな仕事おこしにつなげていただくため、2012年4月より、お取引先紹介誌「うめナビ」を発刊しています。また、「さんぽシリーズ」と題し、営業店職員が近隣の飲食店取材した小冊子の発行も行っています。

これまでのバックナンバーは当金庫ホームページからご覧いただけます。



地元のバスケットボールチームを応援

城南エリアを活動拠点とするプロバスケットボールチーム「アースフレンズ東京Z」、東京都で唯一のWリーグ(バスケットボール女子日本リーグ)所属チームである「東京羽田ヴィッキーズ」を応援しています。

2022年11月には「アースフレンズ東京Z」と連携し、地元の女子



「アースフレンズ東京Z」との連携による「城南カップ」

ミニバスケットボールチームによるトーナメント戦「城南カップ」を開催しました。また、2023年1月には「東京羽田ヴィッキーズ」が出演する「城南信用金庫presents第24回Wリーグ大田区大会」のゲームパートナーとなり、地域の子どもたちを観戦に招待するなど、スポーツを通じた活気ある街づくりに貢献しています。



「城南信用金庫presents第24回Wリーグ大田区大会」



国内企業で初めて「RE100」の目標を達成

当金庫は、電力会社から供給される全電力の約98%を占める本支店等の所有物件の電力を全て再生可能エネルギー(バイオマス発電)に切換えるとともに、残り約2%の賃貸物件等の電力についても、国が認証する「J-クレジット※1」を購入し、CO₂をオフセットすることで、実質100%再生可能エネルギーによる事業活動を行っています。

また、当金庫は、事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が参加する「RE100※2」に加盟しており、参加する国内企業で初めて100%を達成しました。

※1 省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を、クレジットとして国が認証する制度です。

※2 RE100はThe Climate GroupがCDPとのパートナーシップのもとで主催し、We Mean Business連合の一部としても運営しています。日本では2017年より日本気候リーダーズ・パートナーシップ(JCLP)が、RE100の公式地域パートナーとして日本企業の参加と活動を支援しています。

<100%達成手段>

	手段	消費電力の割合
所有物件	バイオマス発電による電力	約98%
賃貸物件等	J-クレジット	約2%

再生紙を製造・活用

使用済みの書類をコピー用紙や役職員の名刺等に再生し、環境負荷の低減を図るため、事務センターに「乾式オフィス製紙機(EPSON PaperLab)」を導入しています。この再生紙でメモ帳や自由帳を作成し、地域の幼稚園や保育園へ寄贈するとともに、お客様へのサービス品としてお配りしています。



「矢祭もったいない市場」に協力

福島県矢祭町の矢祭町特産品開発協議会が都内で開催している「矢祭もったいない市場」に対し、2017年12月より、営業店の駐車場を販売会場として開放しています。同市場は、形がよくないなどの理由で規格外とされた新鮮な農産物や特産品を、生産者が出張直売する取組みです。



“よい仕事おこし”の 取組み

全国の信用金庫とその取引先企業、自治体、教育機関、マスコミ等と連携し、知恵を出し合いながら社会的課題の解決や広域でのビジネスマッチングを行う“よい仕事おこし”の取組みを推進しています。



地域に根差した金融機関である信用金庫は、全国に254あり、店舗数は実に7,107に及びます(2023年2月末現在)。それぞれの信用金庫が地域資源や産業を知り尽くしている一方、信用金庫法で営業地域が限定されていることから、域外との連携をいかに行うかが大きな課題となっていました。

“よい仕事おこし”の取組みは、こうした全国の信用金庫が緊密に連携することで、地域を超えた事業者同士のマッチングの機会を創出するとともに、お客様のお悩みごとの解決につなげようという想いから始まりました。

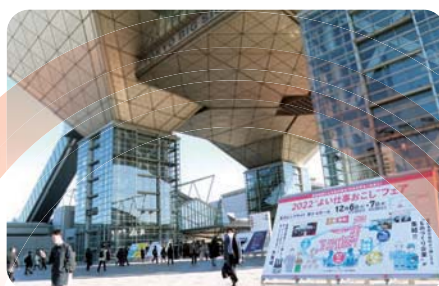
ビジネスマッチングイベントである「“よい仕事おこし”フェア」、インターネットを活用したプラットフォームである「よい仕事おこしネットワーク」、リアルでの出会いを創出する「よい仕事おこしプラザ」がそれぞれの機能を果たすことで、日々、新たな出会いが生まれています。

※「“よい仕事おこし”フェア」「よい仕事おこしネットワーク」の取組みは、「よい仕事おこしフェア実行委員会」が運営しており、城南信用金庫はその事務局を務めています。

“よい仕事おこし”のイメージ図

2012年～

“よい仕事おこし”フェア



よい仕事おこしネットワーク

2018年～



よい仕事おこしプラザ

2020年～



“よい仕事おこし”フェア

全国の信用金庫のお取引先企業等が一堂に会することで、新たな出会いの機会を創出するビジネスマッチングイベント「よい仕事おこし」フェア」を、2012年から開催しています。

第1回のフェアは、東日本大震災による被災地の復興支援を目的とし、東京や東北の信用金庫を中心に63金庫の協賛を得て東京ドームにて開催されました。

2022年12月6日・7日に開催された第10回のフェアは、これまでの被災地支援を主たる目的としていたフェアから、長引く新型コロナウイルス感染症や原材料価格高騰などの影響を受ける事業者への“本業支援”に特化した“ビジネスフェア”として開催しました。

特に大きな影響を受けている「ものづくり」「食品」「観光」関連の464事業者（447ブース）にご出展いただき、業種を絞った密度の濃いマッチングが各所で行われました。

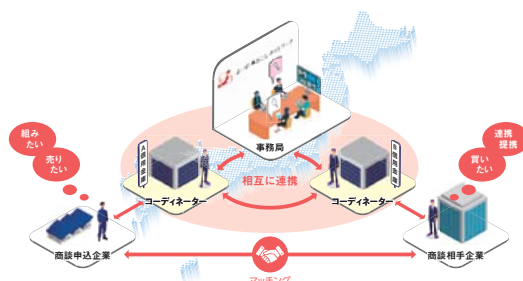


第10回フェア来場者数	25,012名
商談件数	4,702件

よい仕事おこしネットワーク

「よい仕事おこしネットワーク」は、信用金庫とお取引のある全国の事業者の方々にご利用いただける、広域でのビジネスマッチングを実現するためのインターネットを活用したプラットフォームです。ネットワークに加盟する211金庫には、それぞれ専属のコーディネーターが配置されており、コーディネーターが参加企業に適した案件を能動的に提案することで、スムーズで精度の高いマッチングを実現しています。

現在までに、1万2千を超える事業者が参加し、日々、「売りたい」「買いたい」「こんなことで困っている」「こんな技術を探している」等の情報交換・マッチングが行われ、地域を超えて、数多くの素晴らしい実績が挙がっています。当初は、全国の信用金庫とそのお取引先のみでスタートしたネットワークですが、現在では、全国の自治体、大学、マスコミ等も数多く参加するなど、地域連携を象徴するプラットフォームとして成長を続けています。



(2023年3月末現在)

参加企業数	12,843社
登録案件数	2,691件

よい仕事おこしプラザ

2020年7月、大田区の羽田空港跡地に開業した「羽田イノベーションシティ（通称：HICity）」内に、「よい仕事おこしプラザ」を開設しました。日本の玄関口である羽田という立地を生かし、全国の信用金庫のお取引先をはじめとする地域社会の担い手に、年間を通して対面でのマッチングや各種連携の場を提供しています。

「よい仕事おこしプラザ」には、「城南なんでも相談プラザ」のサテライトオフィスを併設しています。信用金庫同士の地域を超えた課題解決の拠点となるべく、中小企業診断士や税理士等の専門家と協力しながら、金庫との取引の有無に関係なく事業者の経営を支援する拠点として、これからもさまざまなサービスを提供してまいります。



■ 興こし酒プロジェクト「絆舞」

「よい仕事おこしネットワーク」では、地域連携と被災地復興支援を目的として、被災地をはじめとする全国のお米をブレンドして造る日本酒「絆舞」の醸造に、2017年から取組んでいます。6年目となる2022年は、過去最多となる47都道府県251の産地からお米が集結しました。2023年3月に開かれた福島県酒造組合の県春季鑑評会では、初出品ながら純米酒の部で金賞を受賞するなど、高い評価を得ています。なお、絆舞の売上1本につき100円が被災地に寄付されます。



個人の皆様への 夢のある商品・サービス

「健全経営」「堅実経営」という経営方針のもと、安全確実な預金商品・サービスの提供や、お客様のお役に立つ健全な融資の取扱いにより、地域の皆様の豊かな暮らしを応援します。



懸賞金付き定期預金

「スーパードリーム」

10万円を1口として1本の抽せん権を付けた、個人のお客様を対象とした1年ものの定期預金です。抽せんまで最高100万円のドリーム大賞や被災地復興応援グルメ賞等、さまざまな懸賞金(品)が当たります。

1994年の取扱開始から長年にわたり地域の皆様から大好評いただいています。



定期積金

「城南夢付き定期積金」

100万円以上の契約額で、預入期間中、年1回季節感あふれる特産品をお届けする、個人の方を対象とした定期積金です。期間は1、2、3、4、5年の5種類からお選びいただけます。また、ご希望の方を抽せんで観劇等にペアでご招待するサービスもございます。



相続定期預金

「“家族の絆”」

金融機関にて相続手続きを完了後1年以内の個人の方で、当金庫営業地区内に居住またはお勤めのお客様を対象に、100万円以上、かつ相続により取得した預金等の金額を上限として、年0.500%（税引前）の利率を適用する「相続定期預金“家族の絆”」を取扱っています。

※適用利率は、当初契約日から満期日までの初回限りとし、自動継続後は、継続日におけるスーパー定期（1年もの）の店頭表示利率が適用されます。



特典付き年金受給口座

「シルバードリーム」

新たに年金振込口座をご指定いただき、一定の要件を満たされた方を対象に、選べる「特典サービス」をプレゼントいたします。すでにご指定いただいているお客様には、毎年のお誕生日プレゼントのほか、ご希望の方を抽せんで観劇等にペアでご招待するサービスもございます。



日々の暮らしを豊かにする

スーパーマイホーム

住宅の新築、購入、増改築資金等、お客様のニーズや資金計画にお応えできる当金庫独自の住宅ローンです。他金融機関で借りている住宅ローンの借り換えにもご利用いただけます。



消費者ローン

お客様のライフイベントに合わせたオーダーメイドのご融資として、「マイカーローン」「教育ローン」「リフォームローン」「無担保住宅ローン」「個人ローン」「ハイパーサポートローン（パーソナル）」「生活資金支援ローン」等を取扱っています。一部の商品は、当金庫ホームページから仮申込が可能です。



保険商品の取扱い

当金庫では、相続対策や病気等への備え、老後の生活費の準備等、お客様のさまざまなニーズにお応えするため、保険商品の窓口販売を行っています。

2023年4月からは、新たに学資保険の取扱いを開始しました。



そうだ
城南に
そうなんだ！

城南信用金庫は、建築・税務・法務など、200を超える業者と連携し、お客様の抱えるどんなお悩みごとにもお応えする体制をととのえています。「地元の工務店を紹介して欲しい」「税理士に相談したい」など、どんなお悩みごとでも最寄りの店舗、または城南なんでも相談プラザにお問い合わせください。

シニア世代のお悩みに寄り添う

高齢者向けサービスのご紹介

ご高齢やご病気等の理由で店頭に来店できない場合等でも、お客様に安心してお取引いただけるよう、9のラインナップからご希望のサービスをお選びいただける高齢者向け総合サポートサービス「いつでも安心サポート」を取扱っています。

また、2021年からは、預金をされているご本人が認知症になってしまい、認知・判断能力を喪失してしまった場合でも、ご本人に代わってあらかじめお届けいただいた代理人の方がお手続きすることを可能にする「将来のための代理人サービス」の取扱いを開始し、取扱いの開始から2023年3月末までに9,777件のお申込みをいただくなど、大変ご好評をいただいています。



「いつでも安心サポート」メニュー

- | | | |
|-----------------------|-----------------|------------------|
| ①代理人サービス | ④「遺言執行」紹介サービス | ⑦リバースモーゲージサービス |
| ②家族信託預金・融資 | ⑤「任意後見制度」紹介サービス | ⑧「有料老人ホーム」紹介サービス |
| ③「公正証書遺言作成お手伝い」紹介サービス | ⑥後見制度支援預金 | ⑨いつでも安心口座 |
- ③については当金庫の関連法人である一般社団法人しんきん安心サポート、④・⑤については一般社団法人しんきん成年後見サポートがそれぞれ対応いたします。

一般社団法人しんきん安心サポート…公正証書遺言の作成のサポートなどを行う信用金庫のOBで構成された法人です。
一般社団法人しんきん成年後見サポート…品川区内に営業店を持つ5つの信用金庫（さわやか信用金庫、芝信用金庫、湘南信用金庫、目黒信用金庫、城南信用金庫）が、品川区社会福祉協議会等の関連団体、有識者の協力を得て2015年1月に設立した我が国初の金融機関による成年後見事業の法人です。

- このほかにも、さまざまな商品・サービスをご用意しています。
- 上記のほかにも必要書類や諸条件等がございます。詳しくは営業店までお問い合わせください。
- 本誌に掲載している商品内容、パンフレット、チラシ等は原則2023年6月1日現在（高齢者向け総合サポートサービス「いつでも安心サポート」のみ2023年6月12日現在）のもので。
- ローンのお申込みに際しては、当金庫所定の審査をさせていただきます。結果によっては、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 保険商品は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。

事業者の皆様への 「本業支援」

当金庫では、事業者の皆様資金繰りをお支える「金融支援」に加え、売上増加・販路拡大を始めとした、本業に関する課題解決をお手伝いする「本業支援」に全力で取り組んでいます。



「城南なんでも相談プラザ」

本店3階およびよい仕事おこしプラザに所在する「城南なんでも相談プラザ」では、中小企業診断士等を含む専門家チームにより、売上増加や販路拡大、創業・起業、技術開発、事業承継・M&A、税務・法律等お客様のさまざまなご相談にワンストップでお応えするほか、提携業者のご紹介なども行っています。

また、製造業の技術や生産管理等に精通した人材を外から「ものづくりコンシェルジュ」として採用し、地域の中小企業の工場等を訪問するなど、より専門的な目線からお客様の課題解決に努めています。

相談内容によっては直接ご自宅や事務所にお伺いすることもできますので、お気軽に専用ダイヤル(03-3493-8116)またはEメールよりお申込みください。詳しくは当金庫ホームページをご覧ください。



■城南なんでも相談プラザ相談受付件数(2022年度)

相談件数	5,251件
提携業者紹介件数	3,462件

事業承継を支援

中小企業の経営者の高齢化が進む中、企業が有する優れた技術やノウハウ等を円滑に次世代に承継していくことが、日本経済の活力維持と発展に不可欠であることから、当金庫では「事業承継支援部」が中心となり、多くの企業が直面する、事業承継に関するさまざまな課題解決に取り組んでいます。

また、企業の価値創造を得意とする経営コンサルタントを講師にお招きし、お取引のある若手経営者や後継経営者の方々が、企業のさらなる飛躍、発展のため、共に学び、見識を高めるとともに、メンバー相互の絆を深めていただくことを目的とした、「城南信用金庫“未来塾”」を毎年開講しています。



■事業承継支援部相談受付件数(2022年度)

相談件数	443件
------	------

海外事業展開を支援

お客様の海外事業展開を支援するため、専門部署として「海外事業支援室」を設置しています。JETRO等の政府機関をはじめ、国内外のさまざまな機関と連携し、海外進出や海外への販路開拓、越境EC、外国人人材の活用、貿易実務等の幅広いご要望に応じています。

また、インターネットに接続可能なパソコンがあれば、オンライン上で送金手続きが完了する「城南外為Webサービス」による外国送金のお取扱いや、親会社から海外の子会社へご融資する親子ローン、お客様の海外子会社が現地で資金を調達する際の保証となるスタンドバイL/Cのご利用にも応じています。



■海外事業支援室相談受付件数(2022年度)

相談件数	184件
提携業者紹介件数	110件

補助金・助成金申請のご支援

ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するための企業の思い切った事業再構築を支援する「事業再構築補助金」など、様々な補助金・助成金が公募されておりますが、申請には補助金の趣旨に沿った事業計画を策定する必要があります。

金融機関をはじめとする認定経営革新等支援機関には、事業

計画の策定や補助事業実施へのサポートが求められており、当金庫では新たな事業等に取り組む事業者を応援するため、企業経営サポート部のビジネスアドバイザーが主体となり、事業再構築補助金をはじめとする各種補助金・助成金の申請のご支援を行っています。



■事業再構築補助金

採択件数 (第1回～第8回公募)	290件
---------------------	------

「J-Create+」「城南創業支援ファンド」「創業支援スクール」による創業支援

地域経済の発展と雇用の創出に寄与するため、「未来を創造するビジネスを、社会にもっと+（プラス）する」をコンセプトとした創業支援施設「J-Create+（ジェイクリエイイトプラス）」を連沼支店内に設置しています。国内の金融機関の支店内では初となる24時間使用可能な施設であり、専属のインキュベーションマネージャーと「城南なんでも相談プラザ」の専門家が連携して創業を支援します。

また、創業・第二創業期にある法人の方の資金ニーズにお応えするとともに、地域の活性化や雇用創出への貢献を目的とした「城南創業支援ファンド」による資本金面でのご支援も行っています。

創業を検討されている方や創業間もない方には、必要な事業計画やマーケティング等の知識を身に付けていただくため、「創業支援スクール」を開講しています。



ビジネス支援事業の後援

以下のビジネスコンテスト等において「よい仕事おこし賞」を設けるなど、地元の中小企業の皆様の活動を積極的に支援しています。



名 称	主 催
革新ビジネスアワード2022	イノベーションズアイ革新 ビジネスアワード実行委員会
第13回ビジネス創造コンテスト	(一財) 品川ビジネスクラブ
第12回ウーマンズビジネス グランプリ2023in品川	第12回ウーマンズビジネス グランプリ2023in品川実行委員会
かわさき起業家オーディション ビジネス・アイデアシーズ市場	(公財) 川崎市産業振興財団

「城南友の会」を運営

お客様同士の交流、親睦を図る「お客様の会」を各営業店に設立し、その取りまとめをする組織「城南友の会」の運営事務局を本部に設置しています。2023年4月17日には、第10回「城南友の会 総会」を開催し、講演会を行いました。



「ビジネス商談会」等を開催

全国の事業者の連携の拠点である「よい仕事おこしプラザ」を中心に、事業者の販路拡大をご支援する「商談会」をはじめ、様々な出会いの機会を提供する「交流会」、その時々の方々に共通するお悩みごとの解決をお手伝いする「相談会」などを随時開催しています。



■ 2022年度に開催した事業者向け商談会・相談会等実績

開催日	商談会等	参加企業数	商談・相談件数
2022年4月19日	建設関連企業との商談会（京急建設㈱・大洋建設㈱・高松建設㈱東京本店）	23	27
5月9日	製造業向け商談会（共催：足立成和信用金庫）	39	54
5月24日	第2回IT活用なんでも大相談会	15	17
6月24日	建設関連企業との商談会（旭化成ホームズ㈱・大和ハウス工業㈱・サンヨーホームズ㈱）	22	33
7月5日	新現役交流会	21	75
7月11日	三金庫合同同業種交流会（共催：足立成和信用金庫・西武信用金庫）	48	141
8月5日	第3回IT活用なんでも大相談会	17	20
9月16日	建設関連企業との商談会（三井ホーム㈱・スターツホーム㈱・ヤマダホームズ㈱）	19	26
10月13日	EC活用なんでも大相談会	15	21
10月14日	建設関連企業との商談会（㈱丸高工業）	19	19
2023年1月27日	建設関連企業との商談会（積和建設東京㈱・山田建設㈱・田中土建工業㈱）	18	23
3月24日	城南地元応援相談会	62	102
	計	318	558

「新現役交流会」を開催

2022年7月、「新現役交流会（後援：経済産業省関東経済産業局）」を開催しました。技術的課題や経営改善、販路拡大などの課題を抱える中小企業と豊富な知識や経験、人脈を持つ企業のOB人材（新現役）をマッチングする交流会で、中小企業21社と新現役77名にご参加いただきました。



「同業種交流会」を開催

同業種のお客様同士のネットワークづくりをご支援する「同業種交流会」を開催しています。2022年7月には、足立成和信用金庫、西武信用金庫とともに、「プラスチック・樹脂加工業」を対象とした三金庫合同の同業種交流会を開催するなど、ビジネスのさらなる発展の機会を提供しています。



地域の商店街を紹介するテレビ番組を提供!!

『パンサー尾形の竹馬散歩』（TOKYO MXテレビ）



地域の魅力あふれる商店街を紹介するテレビ番組「パンサー尾形の竹馬散歩」を提供しています。2022年度は、品川支店・馬込支店・玉川支店・立会川支店・本店・砧支店の近隣の商店街が紹介されました。今後の放送予定は、二次元コードより番組HPにてご確認ください。



TOPICS ~新たな時代への挑戦~

Cinnamoroll



城南信用金庫では、幅広い世代に「信用金庫」を身近に感じていただき、一人でも多くの方々の豊かな生活や事業発展のお手伝いができるよう、非対面サービスの拡充や、新しい情報発信等に挑戦しています。

TOPICS 01 非対面サービスの拡充

■個人向け「城南バンキングアプリ」



口座開設やお取引状況の確認が簡単にできる個人向け「城南バンキングアプリ」の取扱いを開始しました。便利なアプリ通帳では、シンプルなデザインに加え、当金庫のイメージキャラクターであるシナモロールのデザインを選択できます。

アプリ
ダウンロード



iPhone



Android

■事業者向け「城南バンキングアプリBiz」



普通預金・当座預金・定期預金等のお取引状況が簡単に確認できる事業者向けの「城南バンキングアプリBiz」の取扱いを開始しました。外出先での入出金確認はもちろん、代表者が許可した5名までアプリの利用が可能です。

アプリ
ダウンロード



iPhone



Android

TOPICS 02 新しい情報発信

■「Instagram」の活用



“地域の魅力を全国へ”をテーマに、地域のお店や人気スポットなどを発信する「城南信用金庫公式Instagram」を開設しました。地域に密着した信用金庫ならではの目線で、隠れた地域の魅力をお届けします。



城南信用金庫
公式Instagram

■知識集団「QuizKnock」との連携



東大クイズ王・伊沢拓司が中心となって運営する、知識集団「QuizKnock」との連携を始めました。「QuizKnock」が制作するクイズコンテンツを通して、信用金庫の役割や当金庫の取組みなどについて発信していきます。

TOPICS 03 地域の持続的な発展に向けた取組み

■「東急SレイエスFC」との連携



東急スポーツシステム株式会社が運営する総合型フットボールクラブ「東急SレイエスFC」とトップパートナー契約を締結しました。健康に楽しく過ごせる街・子どもが健やかに成長できる街・支えあい暮らせる街を目指し、地域貢献活動や地域イベントの開催に連携して取組みます。

■「Business Contest KING実行委員会」への協賛



日本経済の将来を担う学生を応援するため、全国の現役大学生が集結し、日本最大級のビジネスコンテストを企画・運営する学生団体「Business Contest KING実行委員会」に協賛しています。

リスク管理態勢・ コーポレート ガバナンス態勢



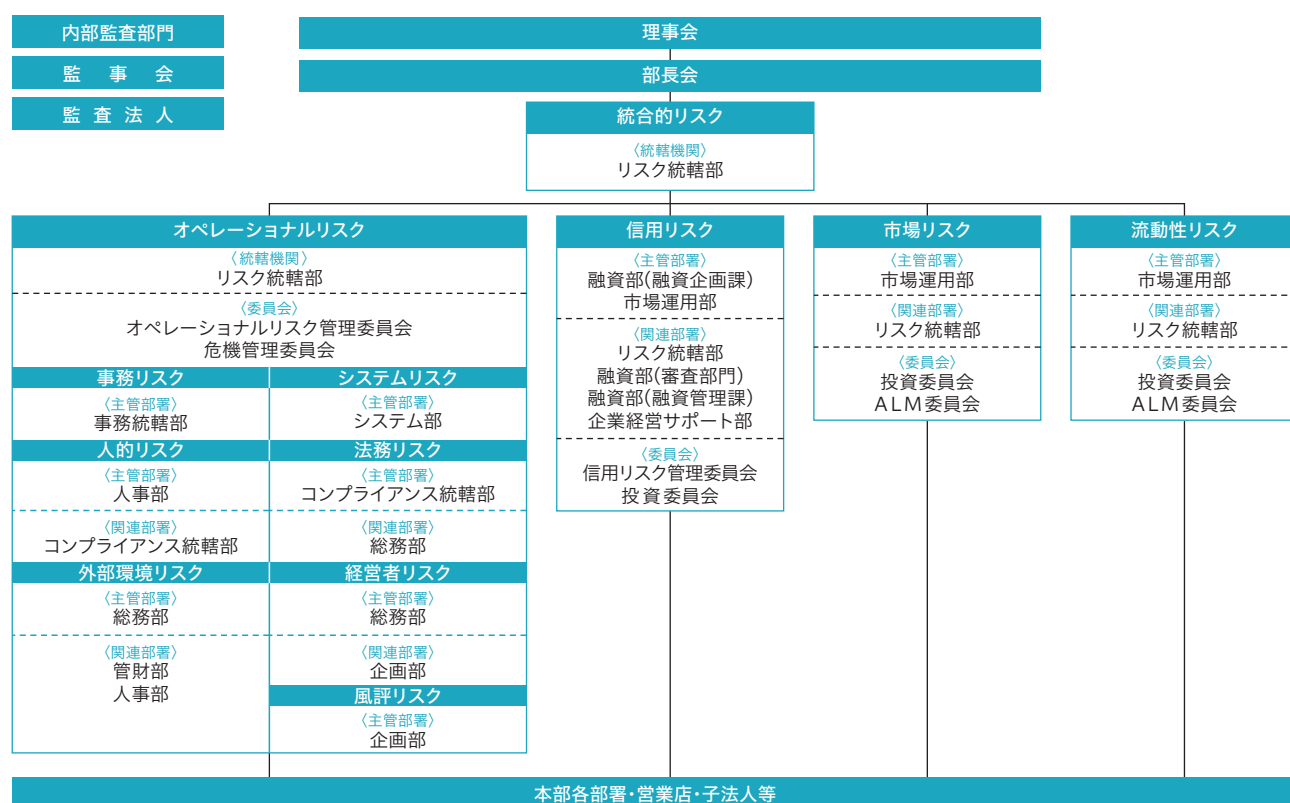
経営管理全般にわたる統合的リスク管理を強化、徹底しています

統合的リスク管理とは、金融機関の直面するリスクに関して、自己資本比率の算定に含まれないリスク(与信集中リスク、銀行勘定の金利リスク等)も含めて、それぞれのリスク・カテゴリー毎(信用リスク、市場リスク、オペレーショナルリスク等)に評価したリスクを総体的に捉え、金融機関の経営体力(自己資本)と比較・対照する

ことによって、自己管理型のリスク管理を行うことをいいます。

当金庫では、管理すべきリスクを「オペレーショナルリスク」「信用リスク」「市場リスク」「流動性リスク」に分類し、理事会を最終責任機関とし、部長会、統轄機関、管理主管部署及び運営する委員会に対応する態勢を整え、適切なリスクのコントロール及び削減に努めています。

統合的リスク管理態勢



当金庫の役員

理事長	川本 恭治	副理事長	下谷 康博	専務理事	斉藤 任弘	常務理事	岩淵 愛子	常務理事	佐藤 文仁
常務理事	林 稔	常勤理事	作田 直昭	常勤理事	西山 直宏	常勤理事	長野 賢史	常勤理事	鎌田 修
常勤理事	長谷部 義和	常勤理事	中野 拓朗	常勤理事	三友 聡一郎	常勤理事	松井 慶彦	非常勤理事	亀井 時子
常勤監事	渡辺 泰志	常勤監事	坂本 豊	非常勤監事	木村 正彦	非常勤監事(員外)	須藤 英章		

コーポレートガバナンス(企業統治)を重視した経営に取り組んでいます

コーポレートガバナンスとは、企業の違法行為を監視したり、少数に権限が集中する弊害をなくすことにより、企業を健全に運営すること、またはその仕組みのことですが、当金庫では、「理念・ビジョンを持つ」「ルールを明確にする」「制度を確立する」という3点を重視しています。

「理念・ビジョンを持つ」という点では、「中小企業の健全な育成発展」「豊かな国民生活の実現」「地域社会繁栄への奉仕」という3つのビジョンを掲げ、その実現に金庫一丸となって取り組んでいます。

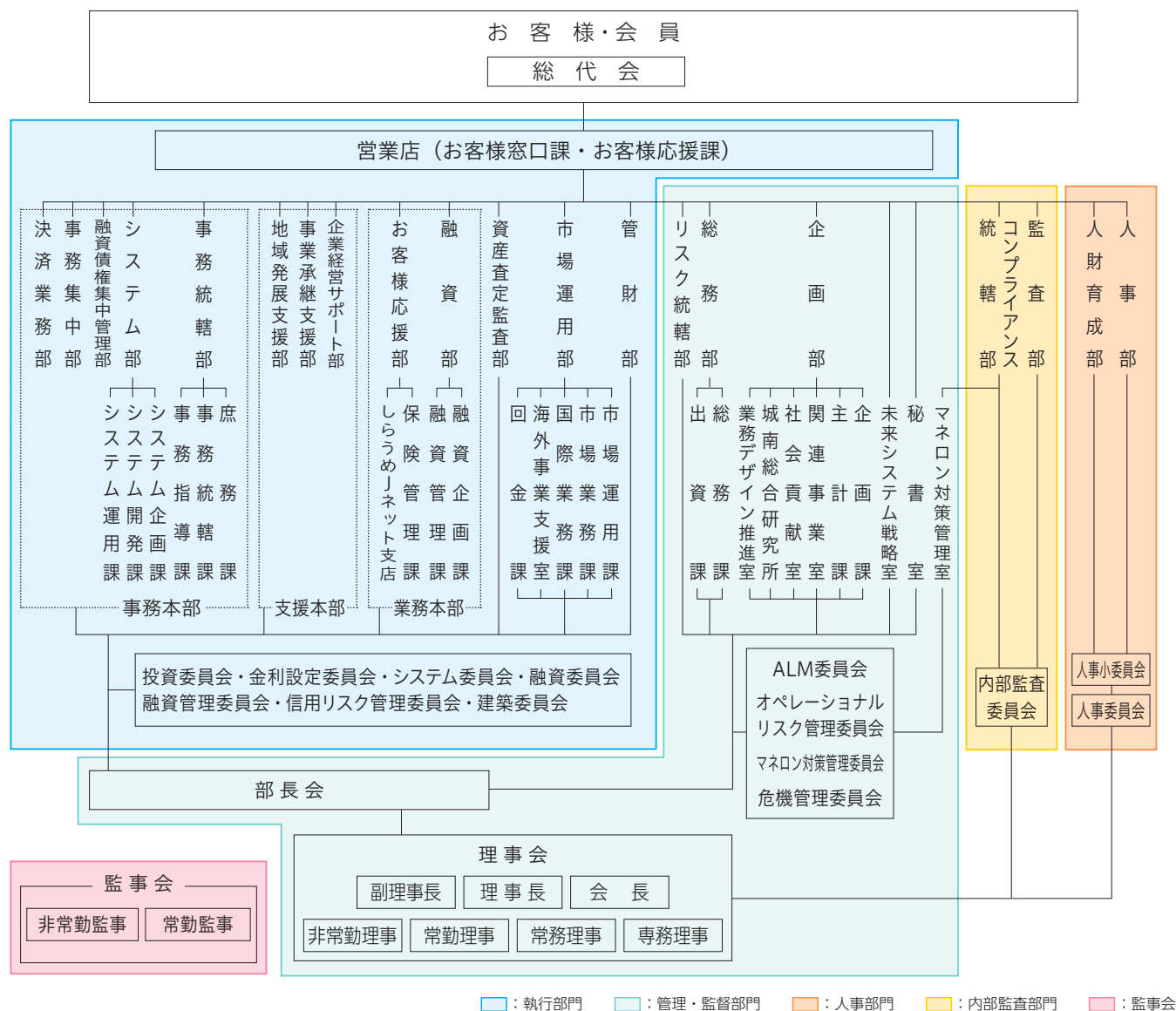
次に、「ルールを明確にする」という点では、「理事の定年および任期を明確化する」「役職員の3親等以内の親族の入職を禁止する」「中元・歳暮等であっても上司が部下から物品、商品券等を受け取ることを禁止する」等のルールを定め、厳格な運用に努めています。

最後に、「制度を確立する」という点では、本部組織を、業務に携わる「執行部門」、理事会を中心とした「管理・監督部門」「人事部門」「内部監査部門」「監事会」の5つに分けて、各部門が相互牽制を図っています。また、組織図においては、お客様を最上位とし、「お客様本位」の考え方を確実に実践する制度、体制を確立しています。さらに、金庫のすべての業務における内部管理態勢の適切性などを検証、評価する「内部監査委員会」を設置し、その委員長を職員外理事とするとともに、理事会の議長を理事長、副理事長を除く、理事会が選任した理事が務める等、金庫の「健全経営」「堅実経営」に努めています。

注) 職員外理事とは、以下の要件を満たす者とする。

就任前5年間、金庫の理事(職員外理事を除く)、職員等および金庫の子会社の取締役、会計参与、執行役または使用人(以下「金庫の職員等」という)ではなかった者であること。ただし、理事候補となることを前提に、理事就任前の短期間(1年未満を目安とする)、金庫の職員等であった者は除く。常勤・非常勤の別は問わない。

組織図



やりがいを持ち、 安心して働ける職場づくり

当金庫では、性別や年齢等に関係なく、全ての職員がお客様との接点を持ち、Face to Faceの活動で地域社会の発展に貢献する「全員営業体制」の実現を目指した人財育成、働き方改革に取り組んでいます。

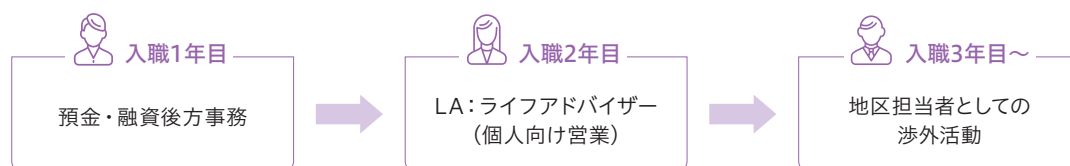


城南信用金庫キャリアパス 主な資格取得状況

■城南信用金庫キャリアパス

当金庫では、職員のスキルアップや効果的な研修の実施、人事配置、ジョブローテーションを実践する人財育成プログラム、「城南信用金庫キャリアパス」を整備しています。

キャリアパスにおいては、「全員営業体制」の実現を目指し、入職以降段階を踏んで必要なスキルが身につく人事配置を行っています。



■主な資格取得状況

(2023年3月末現在 ※延べ人数)

当金庫では、入職から10年目程度までを“キャリア形成期”として捉え、信用金庫の日常業務遂行に必要な知識を身につけるための「全信協基礎・上級実務試験」や、お客様の状況に応じたライフプランの立案・相談に必要な技能を身につけるための「ファイナンシャル・プランニング技能検定 (FP技能検定) 3級・2級」を5年目までの奨励資格とし、さらに専門的な課題解決に必要な知識を習得するため、宅建士や中小企業診断士を始めとする専門資格の取得を奨励しています。

全信協基礎実務	1,169名	2年目までの取得奨励
3級 FP技能検定	913名	
全信協上級実務	1,554名	5年目までの取得奨励
2級 FP技能検定	812名	
宅建士 (試験合格者数)	209名	公的資格奨励制度により 全職員に取得を奨励
1級 FP技能検定	42名	
中小企業診断士	31名	

働き方データ

男女比率

(2023年3月末現在)



平均勤続年数

(2022年度)



17年9月

一月当たり平均残業時間

(2022年度)

10時間01分

有給休暇取得率

(2022年度)

67.43%

育児休業取得率

(2022年度)

女性 100% 男性 41%

※男性については、育児・介護休業法に基づき算出しています。

管理職に占める女性の割合

(2023年3月末現在)

8.63%

店舗のご紹介

東京都

品川区 7店舗			
001	営業部本店	〒141-8710	品川区西五反田7-2-3 03(3493)8111
002	品川	〒140-0004	品川区南品川1-4-25 03(3471)3171
003	大井	〒140-0014	品川区大井1-6-10 03(3774)1051
012	荏原	〒142-0054	品川区西中延1-4-16 03(3786)1131
062	大崎	〒141-0032	品川区大崎2-6-11 03(3491)8771
073	西大井	〒140-0015	品川区西大井1-3-3-101 03(3773)8511
076	立会川	〒140-0013	品川区南大井4-6-1 03(3298)3341

大田区 15店舗			
004	大森	〒143-0014	大田区大森中1-7-1 03(3762)3511
005	入新井	〒143-0016	大田区大森北1-26-3 03(3763)2311
006	馬込	〒143-0025	大田区南馬込5-2-9 03(3771)0101
007	池上	〒146-0082	大田区池上6-4-1 03(3751)5121
008	蒲田	〒144-0052	大田区蒲田5-26-13 03(3733)8181
009	六郷	〒144-0046	大田区東六郷3-2-10 03(3738)5121
010	矢口	〒146-0093	大田区矢口1-8-8 03(3750)4161
011	羽田	〒144-0047	大田区萩中3-8-5 03(3741)7791
017	岡山	〒145-0062	大田区北千束3-31-7 03(3727)3135
024	雪ヶ谷	〒145-0067	大田区雪谷大塚町7-9 03(3720)4131
032	蓮沼	〒144-0051	大田区西蒲田6-32-11 03(3732)3211
	蓮沼支店 西蒲田出張所	〒144-0051	大田区西蒲田1-22-13 03(3755)0131
061	蒲田本町	〒144-0053	大田区蒲田本町2-19-1 03(3736)1571
078	大田文化の森	〒143-0024	大田区中央2-12-3 03(3777)4911
080	久が原	〒146-0085	大田区久が原3-35-1 03(5700)2531

渋谷区 1店舗			
025	渋谷	〒150-0002	渋谷区渋谷3-8-10 03(3400)6246

目黒区 4店舗			
013	碑ヶ谷	〒152-0031	目黒区中根1-1-14 03(3717)1131
019	目黒	〒153-0052	目黒区祐天寺2-12-17 03(3712)1161
020	自由ヶ丘	〒152-0035	目黒区自由が丘1-13-16 03(3717)3161
081	碑文谷	〒152-0003	目黒区碑文谷4-24-21 03(5704)0731

世田谷区 14店舗			
014	駒沢	〒154-0011	世田谷区上馬4-10-1 03(3414)3161
	駒沢支店 桜新町出張所	〒154-0012	世田谷区駒沢3-27-1-101 03(3412)8541
015	砧	〒157-0066	世田谷区成城2-26-17 03(3416)3171
016	奥沢	〒158-0083	世田谷区奥沢3-30-14 03(3720)4151
018	玉川	〒158-0082	世田谷区等々力3-8-1 03(3701)2156
028	経堂	〒156-0052	世田谷区経堂1-12-7 03(3429)0161
029	世田谷	〒155-0033	世田谷区代田5-12-5 03(3414)3126
031	三軒宿 (仮店舗:〒153-0043 目黒区東山3-8-1 東急池尻大橋ビル6階)	〒154-0001	世田谷区池尻3-30-8 03(3413)3211
034	瀬田	〒158-0095	世田谷区瀬田3-3-5 03(3700)7181
060	祖師谷	〒157-0071	世田谷区千歳台2-13-4 03(3484)8471
069	深沢	〒154-0012	世田谷区駒沢5-15-12 03(3705)5511
072	用賀	〒158-0097	世田谷区用賀3-27-4 03(3707)5611
077	等々力	〒158-0082	世田谷区等々力2-7-2 03(3702)3851
084	桜上水	〒156-0045	世田谷区桜上水2-6-4 03(5374)8821

千代田区 2店舗			
021	神田	〒101-0047	千代田区内神田3-22-7 03(3252)8251
	(仮店舗:〒101-0051 千代田区神田神保町3-1 九段支店2階)		
023	九段	〒101-0051	千代田区神田神保町3-1 03(3265)0631

中央区 1店舗			
030	銀座	〒104-0061	中央区銀座1-18-8 03(3535)2411

港区 2店舗			
022	新橋	〒105-0004	港区新橋3-7-7 03(3502)8251
026	青山	〒107-0061	港区北青山2-12-14 03(3401)2131

中野区 1店舗			
033	中野	〒164-0011	中野区中央5-16-1 03(3381)7136

杉並区 1店舗			
036	高円寺	〒166-0002	杉並区高円寺北2-41-21 03(3330)3211

狛江市 1店舗			
035	狛江	〒201-0014	狛江市東和泉1-30-1 03(3489)5191

町田市 5店舗			
043	原町田	〒194-0021	町田市中町2-3-4 042(725)4511
053	すずかけ台	〒194-0002	町田市南つくし野3-7-1 042(796)4811
066	小山田	〒194-0204	町田市小山田桜台1-20 042(797)2111
075	玉川学園	〒194-0041	町田市玉川学園7-4-1 042(729)7311
082	本町田	〒194-0032	町田市本町田3251-3 042(721)9891

稲城市 1店舗			
052	稲城	〒206-0812	稲城市矢野口589 042(377)7011

神奈川県

川崎市 6店舗			
037	溝ノ口	〒213-0001	川崎市高津区溝ノ口1-14-3 044(833)0321
038	生田平	〒214-0038	川崎市多摩区生田7-6-3 044(922)0141
040	宮前平	〒216-0006	川崎市宮前区宮前平1-10-8 044(866)9121
041	元住吉	〒211-0025	川崎市神奈川区西神奈川2-7-1 044(432)5111
057	中原	〒211-0053	川崎市中原区小田中6-14-8 044(711)3651
074	鷺沼	〒216-0005	川崎市宮前区土橋3-2-4 044(854)2511

横浜市 16店舗			
039	綱島	〒223-0053	横浜市港北区綱島西1-10-7 045(541)8021
044	天王町	〒240-0003	横浜市保土ヶ谷区天王町2-47-3 045(333)1561
045	鶴見	〒230-0061	横浜市鶴見区佃野町19-5 045(573)1881
046	六角橋	〒221-0822	横浜市神奈川区西神奈川12-7-1 045(432)5111
048	小机	〒222-0036	横浜市港北区小机町1459 045(472)8221
051	荏田	〒225-0015	横浜市青葉区荏田北3-8-1 045(911)2741
055	田奈	〒227-0064	横浜市青葉区田奈町43-7 045(983)3221
056	上星川	〒240-0042	横浜市保土ヶ谷区上星川1-4-9 045(382)0081
059	日吉下田	〒223-0064	横浜市港北区下田町4-3-12 045(561)5131
063	横浜	〒231-0033	横浜市中区長者町5-75-1 045(252)8491
064	川和	〒224-0057	横浜市都筑区川和町975-2 045(933)4641
068	たまプラーザ	〒225-0002	横浜市青葉区美しが丘1-10-10 045(902)6701
070	新横浜	〒222-0033	横浜市港北区新横浜2-4-13 045(471)8081
071	今宿	〒241-0031	横浜市旭区今宿西町1953-6 045(954)3901
079	瀬谷	〒246-0031	横浜市瀬谷区瀬谷4-4-10 ライフゲート瀬谷2階 045(301)9411
085	仲台	〒224-0041	横浜市都筑区仲台1-23-23 045(941)5011

大和市 3店舗			
047	大和	〒242-0017	大和市大和東1-5-5 046(263)3361
058	相模大塚	〒242-0028	大和市桜森3-5-3 046(263)5551
067	中央林間	〒242-0007	大和市中央林間4-19-10 046(273)0781

海老名市 1店舗			
065	海老名	〒243-0432	海老名市中央1-4-27 046(231)1411

厚木市 1店舗			
049	厚木	〒243-0018	厚木市中町2-10-8 046(224)8711

座間市 1店舗			
050	相武台	〒252-0011	座間市相武台1-34-12 046(255)1241

相模原市 1店舗			
054	淵野辺	〒252-0233	相模原市中央区鹿沼台1-13-16 042(758)3811

藤沢市 1店舗			
083	湘南台	〒252-0804	藤沢市湘南台2-8-18 0466(46)0561

インターネット支店

090	しらうめ」ネット	〒158-0097 世田谷区用賀4-22-1(事務センター内)	03(3493)8111
-----	----------	---------------------------------	--------------

本部関係

本店	〒141-8710 品川区西五反田7-2-3	03(3493)8111
事務センター	〒158-0097 世田谷区用賀4-22-1	03(3700)3161
コールセンター		 0120(753)012

※2023年6月15日現在



城南信用金庫

〒141-8710 東京都品川区西五反田7-2-3
TEL : 03(3493)8111(代表)

<https://www.jsbank.co.jp>

